

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和4年4月22日（金） NO3 文責 木下 文秋

「ありがとう」の対義語

言葉には対義語というものがあります。例えば「勝つ＝負ける」「泣く＝笑う」「暑い＝寒い」という具合です。それでは、「ありがとう」の対義語は何でしょうか？「ありがとう」とは「有り難し」（ありがたし）という言葉が語源です。「有り難し」とは「簡単ではない」とか「めったにない」「珍しい」ということを意味します。「難し」とは「難しい・困難」という字をあてることから想像がつくように「あることがむずかしい」ということになります。このことから「ありがとう」の反対は「あたりまえ」となるそうです。少し意外な気がします。皆さんは「ありがとう」という言葉はよく口にするはずですが、皆さんの周りにはどんな「あたりまえ」があるでしょうか。朝起きたら食事ができていること。水道の蛇口をひねると水が出てくること。すべて皆さんにとっては「あたりまえ」のことです。しかし、世の中には、当たり前ではない悲惨なことも起きています。ウクライナの問題は胸を締め付けられます。どうして「やめろ！」という大統領や総理大臣はいないのか、不思議でなりません。おそらく国レベルのかけひきや我々には想像もつかないことが背景にあるのでしょうか。ところで、この学校に来て「ありがたい」と感じることがあります。それは、朝のあいさつ運動や清掃活動をしている部活動生がいることです。前任校でも朝の登校指導をしていたので、この学校でも校門で生徒を迎えています。7時半くらいからすごい数の自転車と徒歩通生が登校してきます。そんな中ある部活動生が校門であいさつ運動や清掃活動をしてきています。このようなボランティア活動を通して「徳を積む」経験をします。「徳を積む」とは善い行いを積み重ねていくという意味があります。「陰徳」という言葉があり、人に知られずに善いことを行うという意味です。見返りを求めずに善行を積み重ねることで「徳を積む」ことにつながっています。例えばスポーツの強豪校が会場入りすると会場周辺のゴミ拾いをするということがあります。これはゴミ拾いをして勝利を神頼みするのではなく、日頃からこういう徳を積んでいて平常心で試合に臨むという意味があります。朝のあいさつ、校内のゴミ拾いなど何でもいから学校にもっとボランティア活動が広まることを楽しみにしています。人のために何かをすることできっと人間的にも大きく成長できると思うからです。